

お客さま本位の業務運営の取組状況

令和元年5月20日

結城信用金庫

当金庫では、平成30年3月に「お客さま本位の業務運営にかかる基本方針」を策定・公表し、お客さまの最善の利益の追求と家計の長期・安定的な資産形成のサポートに取組んでおります。

今般、平成31年3月末時点の取組状況（成果指標：K P I）を公表いたします。今後も定期的に公表するとともに、随時、取組内容を見直してまいります。

1. 当金庫独自の成果指標の取組み状況について

(1) お客さまの家計の長期・安定的な資産形成に適う商品・サービスの提供に努めます。

取組状況

- ・平成31年3月から国内REIT投信（1年決算型）と、今後成長が見込まれる国内外株式投信（半年決算型）の2商品を追加設定しました。
- ・上記2商品の取扱いを開始したことで、従来、当金庫の商品群になかった、あるいは不足していた新たなカテゴリ商品が加わり、お客さまのニーズにあった商品選択の幅が広がりました。

○投資信託取扱商品数

《投資対象別》

	債券	REIT	株式	バランス
国内	1	2(1)	4	0
国内外	1	0	1(1)	2
海外	7	2	2	0
合計	9	4(1)	7(1)	2

《決算頻度別》

年1回	年2回	四半期	毎月	合計
9(1)	1(1)	2	10	22

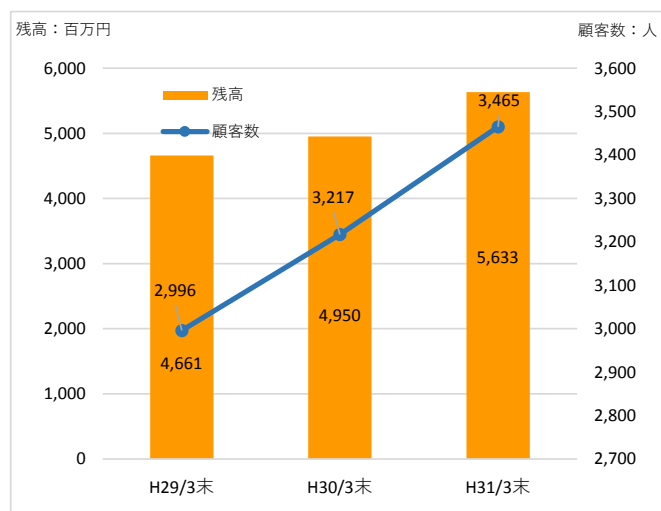
※カッコ内はH31年3月より取扱開始した商品区分を表記（内数）。
 ※他につみためNISA専用商品として、国内株式を2商品、国内外のバランス型を1商品取扱っております。

(2) お客さまのライフプランやニーズに応じた最適な商品・サービスをご提案します。

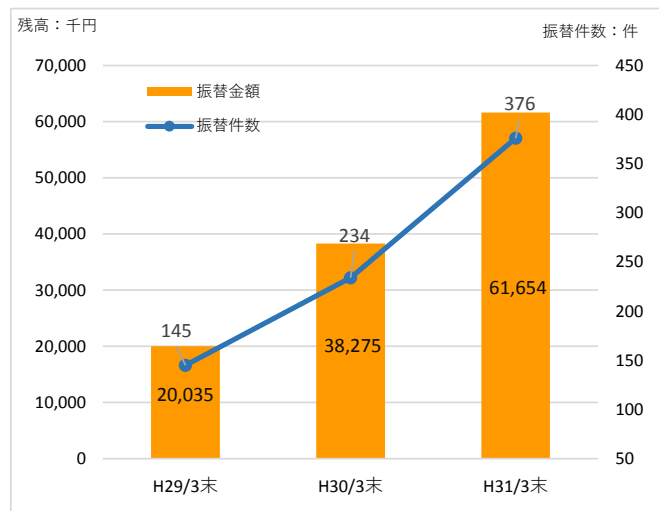
取組状況

- ・当金庫では、投資信託をお客さまの長期・安定的な資産形成をサポートする商品と位置づけ、預かり資産残高や定時定額の取引件数を重視した営業活動を展開しております。
- ・投資信託残高および契約者数、定時定額取引の振替件数および振替額ともに順調に増加しております。
- ・NISA口座数については、ほぼ横ばいでの推移となっておりますが、NISA口座の利用率は着実に増加しております。また、2018年1月からのつみためNISA制度開始に伴って専用商品（3商品）を設定しました。2018年の利用額は4,185千円となっております。
- ・平成30年度の当金庫の投資信託販売金額上位5商品は下表のとおりです。東証REIT指数の上昇を受けて「しんきん」リートファンド（毎月決算型）の販売比率が増加しております。

○投資信託残高および契約者数の推移



○定時定額振替件数および振替額の推移



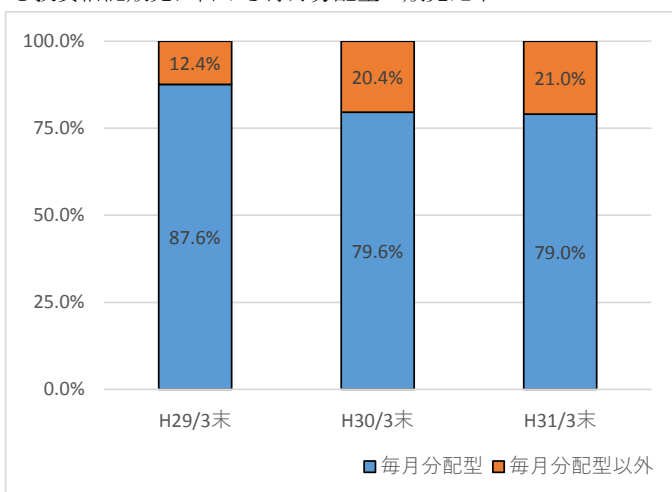
○NISAの利用状況

	H28年	H29年	H30年
NISA口座数	817	847	825
NISA利用口座数	291	314	313
NISA利用額(千円)	208,988	198,760	179,769
つみたてNISA			4,185
NISA口座利用率	35.6%	37.1%	37.9%

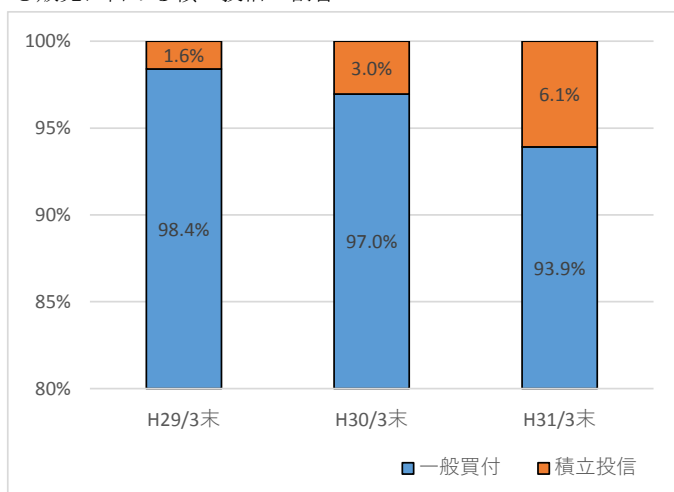
○投資信託販売金額上位商品(平成30年度)

順位	商品名	投資対象	決算頻度	販売額(千円)	販売比率
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	国内REIT	毎月決算型	571,500	56.4%
2	しんきんインデックスファンド225	国内株式	1年決算型	138,385	13.6%
3	しんきん3資産ファンド	国内外バランス	毎月決算型	137,420	13.6%
4	しんきん世界好配当利回り株ファンド	海外株式	毎月決算型	67,820	6.7%
5	しんきん世界アロケーションファンド	国内外バランス	1年決算型	13,030	1.3%

○投資信託販売に占める毎月分配型の販売比率



○販売に占める積立投信の割合



(3) 商品・サービスのご提案にあたって、適切な情報をわかりやすくご説明いたします。

取組状況

- ・投資信託商品の販売にあたっては、説明書や各種パンフレットを用いて、丁寧かつ分かりやすい説明に努めています。また、お客さまにご負担いただく販売手数料について誤解がないように、当金庫所定の様式をもってご説明させていただいております。
- ・当金庫では、販売時のみならず投資信託を保有しているお客さまに対するサービスも強化してまいります。平成30年度からアフターフォローの庫内ルールを制定し、組織的なサポートを開始しました。今年度は、延べ1,088先のお客さまに対して契約商品の状況をご説明し、ご要望等をお聞きしました。

○アフターフォロー実施状況

投信保有顧客数	実施顧客数	カバー率
3,465	1,088	31.4%

※投信保有顧客は2019年3月末時点の顧客数、アフターフォロー実施顧客はのべ人数を記載しております。

(4) お客さまとの利益相反管理を徹底します。

取組状況

- ・当金庫では、「利益相反管理方針」をホームページなどで開示し、内部規定である「利益相反管理規程」に基づいて管理を徹底しております。また、管理態勢の適切性についても、主管部署を中心に検証しております。

(5) お客さま本位の業務運営の実現・定着に向けて、人材育成や態勢整備に努めます。

取組状況

・当金庫では、FP資格の取得を奨励しております。また、お客さま本位の提案力向上のため、平成30年度は計5回の社内研修を実施し、のべ153人の職員が参加しました。

○FP保有者数

資格	H30年度
FP 1 級	2人
FP 2 級	43人

○30年度預り資産推進講座研修

	H28年度	H29年度	H30年度
開催回数	3回	3回	5回
受講者数合計	53人	107人	153人

2. 金融機関共通の成果指標について

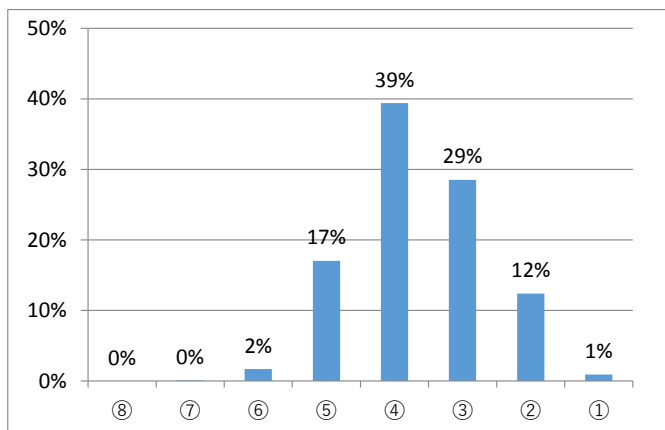
(1) 投資信託の運用損益別お客さま比率の状況

状況

・H31年3月末現在、当金庫で投資信託を保有するお客さまのうち、受取配当金を含む運用損益がプラスのお客さまの比率は81.2%となっています。

○投資信託運用損益別顧客比率

区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	21	0.9%
②	+30%以上+50%未満	287	12.4%
③	+10%以上+30%未満	661	28.5%
④	0%以上+10%未満	914	39.4%
⑤	-10%以上0%未満	395	17.0%
⑥	-30%以上-10%未満	39	1.7%
⑦	-50%以上-30%未満	2	0.1%
⑧	-50%未満	0	0.0%
		2,319	100%



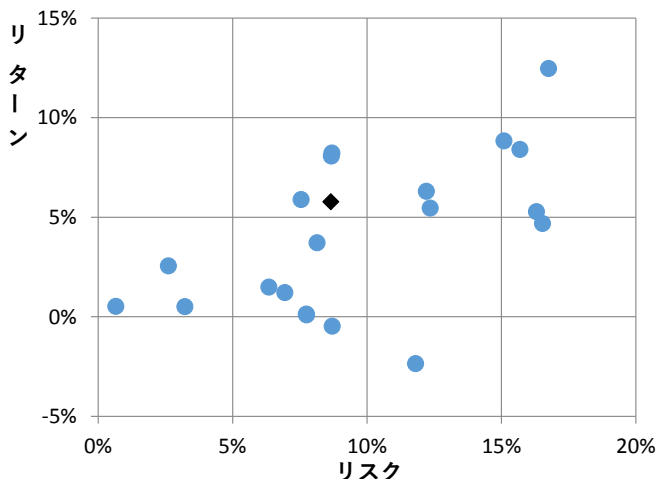
※原則として2003年6月以降の数値をもとに算出しております。

(2) 投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン、コスト・リターン（設定後5年以上）

状況

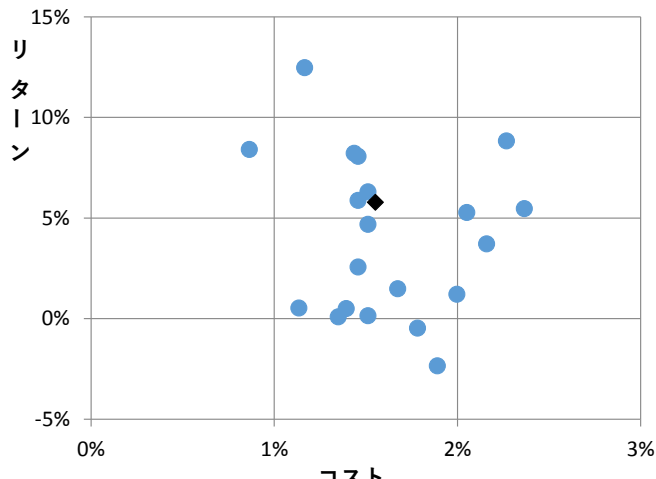
・設定後5年以上の投資信託のリスク対比のリターン、コスト対比のリターンは下表のとおりです。お客さまが保有されている投資信託の平均値は、リターンが5.78%、コストが1.55%、リスクが8.65%となっております。

○リスク・リターン表



残高加重平均値 (◆)	リスク	リターン
	8.65%	5.78%

○コスト・リターン表



残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.55%	5.78%

○預り資産上位20銘柄の個別明細

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	8.67%	1.46%	8.08%
②	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	7.54%	1.46%	5.89%
③	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	8.14%	2.16%	3.73%
④	D I A M高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	7.74%	1.51%	0.15%
⑤	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	6.34%	1.67%	1.49%
⑥	ニッセイ日本インカムオープン	0.65%	1.13%	0.54%
⑦	しんきん世界アロケーションファンド	2.61%	1.46%	2.57%
⑧	しんきんインデックスファンド225	15.68%	0.86%	8.42%
⑨	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	16.29%	2.05%	5.29%
⑩	ニッセイ日本勝ち組ファンド（3ヵ月決算型）	16.52%	1.51%	4.69%
⑪	三井住友・グローバル・リート・オープン	12.35%	2.37%	5.47%
⑫	D I A M高格付外債ファンド	11.81%	1.89%	-2.34%
⑬	三井住友・ヨーロッパ国債ファンド	7.75%	1.35%	0.10%
⑭	コーポレート・ボンド・インカム（為替ヘッジ型）	3.22%	1.39%	0.51%
⑮	新光US-REITオープン（年1回決算型）	15.09%	2.27%	8.85%
⑯	日経225リスクコントロールオープン	12.20%	1.51%	6.30%
⑰	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	16.75%	1.17%	12.48%
⑱	ピムコ世界債券戦略ファンド（年1回決算型）Dコース（為替ヘッジなし）	6.94%	2.00%	1.22%
⑲	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（年1回決算型）	8.70%	1.78%	-0.47%
⑳	しんきんJリートオープン（1年決算型）	8.69%	1.44%	8.23%
残高加重平均値（◆）		8.65%	1.55%	5.78%